



# 小田原男声合唱団

## 第38回 定期演奏会



### Ⅰ 男声合唱曲集 ほほえみ

- 1 ふるさとの木の葉の歌 坂村 真民 作詩
- 2 憧れ 作詩者 不詳
- 3 朝に 立原 道造 作詩

- 4 鈴木 憲夫 作曲
- 5 ひとひらの花びら
- 6 めぐりあいの中に
- 7 ほほえみ

指揮 ピアノ 中根 希子

### Ⅱ Deutsche Messe Franz Schubert 作曲

- 1 Zum Kyrie 哀れみの讃歌
- 2 Zum Gloria 栄光の讃歌
- 3 Zum Evangelium 福音書唱
- 4 Zum Offertorium 奉献唱

- 5 Josef Gruber 編曲
- 6 Zum Sanctus 聖なるかな
- 7 Nach der Wandlung 聖変化の後で
- 8 Zum Agnus Dei 神の子羊
- 9 Zum Schlusse 終祭唱

指揮 外山 浩爾

### Ⅲ 男声合唱組曲 草野心平の詩から

- 1 石家荘にて 2 天 3 金魚

- 4 草野 心平 作詩
- 5 多田 武彦 作曲
- 6 雨 5 さくら散る

指揮 外山 浩爾

### Ⅳ 男声合唱とピアノのための 赤い鳥小鳥 — 北原白秋童謡詩集 — 初演

- #### 第1章 小さないのち
- 1 揺籃のうた 草川 信 作曲
  - 2 栗鼠、栗鼠、小栗鼠 成田 為三 作曲
  - 3 兔の電報 佐々木すすぐる 作曲
  - 4 たあんき、ぼうんき 中山 晋平 作曲
  - 5 ちんちん千鳥 近衛 秀麿 作曲
  - 6 赤い鳥小鳥 成田 為三 作曲

- #### 第2章 子供村
- 7 すかんぼの咲くころ 山田 耕筈 作曲
  - 8 アメリ 中山 晋平 作曲
  - 9 かえろかえろと 山田 耕筈 作曲
  - 10 砂山 中山 晋平 作曲

- #### 第3章 つか来た道
- 11 この道 山田 耕筈 作曲
  - 12 揺籃のうた 草川 信 作曲



音楽監督 常任指揮者 外山 浩爾



指揮者 牛丸 紘一



ピアノ 中根 希子

## 小田原市民会館大ホール

### 2009. 12. 5 (土)

午後2:00 開場 全自由席 1,000円  
午後3:00 開演

主催 / 小田原男声合唱団  
後援 / 小田原市教育委員会 (JAMCA)  
日本男声合唱協会 (KAMCA)  
神奈川県男声合唱協会 (KAMCA)  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟  
小田原音楽連盟

チケット問い合わせ・販売  
小田原男声合唱団事務局 井上楽器

小田原市栄町1-13-36  
TEL 0465-24-0515  
FAX 0465-24-0711  
URL <http://www.odadan.jp/>

団員随時募集中! 年齢経験不問。いっしょに歌いましょう。

練習日: 毎週火曜日 19:00~21:30 旭丘高校(小田原駅より徒歩5分) 他  
第4日曜日 10:00~17:00 (不定期)

団員: 小田原・南足柄・真鶴・熱海・二宮・大磯・茅ヶ崎・藤沢・鎌倉・横浜  
開成・松田・大井・中井・山北・秦野・伊勢原・厚木・寒川・岡山・陽町



# 小田原男声合唱团

## 第38回定期演奏会



2009.12.5 (土) 午後2:00 開場 午後3:00 開演  
小田原市民会館大ホ一ル

主催  
後援

小田原男声合唱团  
小田原市教育委員会  
日本男声合唱協会 (JAMCA)  
神奈川県男声合唱協会 (KAMCA)  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟  
小田原音楽連盟



## ごあいさつ

小田原男声合唱団  
団長 一色義信



本日は、小田原男声合唱団第38回定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。団員一同心より御礼申し上げます。

今年1年間を振り返り、本年の演奏活動は3月の末廣誠先生指揮により『市民による第九演奏会』に始まり、4月は藤沢市民会館で開催された『神奈川男声合唱協会(KAMCA)第8回演奏会』、6月はハーモニーホール座間での『小田原市民合唱祭』へそれぞれ出演し、そして本日『第38回定期演奏会』を迎える運びとなりました。皆様のお陰をもちまして、本年も多忙ながらも充実した、有意義な1年間を過ごすことができました。

8月2日(日)明治大学アカデミーホールで開催いたしました『浩爾コンサート』は、外山浩爾先生を中心となり、外山浩爾先生が指揮された『パトリオット』、実行者の『ハレルヤコーラス』を全員で大合唱し、各合唱団が自慢のレパートリーを披露し、最後は『草野心平の詩から』、外山先生には1992年に最初の客演指揮をお願いし、その後2回の客演指揮を経た1996年に音楽監督兼常任指揮者にご就任いただき、13年の長きに亘りご指導をいただき、いつまでも元気でご指導いただきたいと願っております。

本日は、外山先生の指揮による『赤い鳥小鳥-北原白秋童謡詩集-』、また牛丸団内指揮者により『草野心平の詩から』、信長貴富編曲「赤い鳥小鳥-北原白秋童謡詩集-」また牛丸団内指揮者により『草野心平の詩から』、滋賀演奏会』での合同演奏曲であり、本日はオダダンの単独演奏でより高い精度の演奏を目指します。また「赤い鳥小鳥-北原白秋童謡詩集-」は、混声版は10月18日開催の『小田原市民合唱祭』にお出でいただき、桑原妙子先生指揮、設立40周年記念合唱団により初演されました。そして本日、草野心平の詩から』、多田武彦作曲「ドイツミサ」、多田武彦作曲「草野心平の詩から」を演奏いたします。

昨秋の状況が引き続き、世のお父さん達にとっては合唱どころではない状態が続いております。益々厳しい中、オダダンは年金生活者の増加を最大の武器に、益々精力的な活動を展開しております。来月には、サンプラザホールのおいて、咸臨丸遣米150周年を記念し、北原白秋の『親善コンサート』を予定しております。オダダンでは私達と一緒に歌う仲間をいくつかお待ちしております。宜しくお願いいたします。

末筆になりますが、オダダンの活動にいつもご理解、ご声援を頂いております皆様へ感謝を申し上げます、今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りたくどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 外山 浩爾 音楽監督 / 常任指揮者

日本楽壇の功労者・外山国彦を父に、指揮者・外山雄三を兄にもつ音楽一門の出身。幼少より本格的な音楽教育を受け、東京藝術大学において、柴田睦陸、ウーファアール・ペニーヒ、リア・フオン・ヘッツサート諸氏に師事。卒業後直ちに同大学及び附属高校で教鞭をとる。その傍ら藤原歌劇団の活動に参画し、「森の歌」「ドイツレクイエム」等のソロ活動、「カルメン」「蝶々夫人」等、数多くのオペラ活動、「歌のメリーゴーランド」「セブンショー」等、長期テレビ活動など幅広く活動。他方、合唱活動にも積極的に参画し、世界合唱連合(現 IFCM)設立代表委員、東京合唱連盟理事等、全日本合唱連盟副理事長等を歴任。殊に明治大学グリーククラブをウィーン音楽祭で銀賞受賞まで育て、個人として明治大学特別功労賞(第1号)に輝く。国内外の現代合唱作品の数多くの新作初演等を行い合唱界発展のために尽力。

教育活動では、東京藝術大学附属高校副校長をはじめ東京藝術大学、鳴門教育大学、兵庫教育大学連合大学院教授、全日本音楽教育研究会副会長等を歴任し、1992年には、文部大臣より教育功労表彰を受ける。1996年に小田原男声合唱団の音楽監督・常任指揮者に就任。現在、聖徳大学大学院教授、全日本音楽教育研究会大学部会常任理事、東京藝術大学音楽学部同声会副会長、(社)全日本合唱連盟名誉会員、日本指揮者協会、NHK全国学校音楽コンクール審査員、板橋区混声合唱団、世田谷区合唱連盟主宰合唱団ラディアイータ、葛飾区民合唱団、明治大学グリーククラブ、共立女子大学合唱団等の指導にあたる。



## 牛丸 紘一 指揮者

高校時代より合唱指揮をはじめ、大学時代は母校金沢大学合唱団の指揮者を務めた。大学卒業後、1963年より京都の製菓会社に勤務し、その傍ら京都で最も伝統のある京都混声合唱団に入団、副指揮者・指揮者を務めた。また、日本新楽合唱団、女声合唱団ユールアミの指揮者としても活躍した。この間、京都市交響楽団との協演の機会には、青山政雄、山田一雄、フルヴィオ・ヴェルニツィー、小泉和裕、佐藤功太郎、小林研一郎、井上道義、蔵田裕行氏の指揮したパッサの「マタイ受難曲」、ハイドンの「四季」「天地創造」、ベートーヴェンの「第九」、モーツァルト、ドボルザーク、ヴェルディ、フォーレ、デュルフロの「レクイエム」、メンデルスゾーンの「エリア」、マーラの「復活」、ラベルの「ダフニスとクロエ」等の合唱指導を担当した。

1995年、転勤により小田原へ移住し当団に入団。2005年より団内指揮者を務めている。また、大学時代より合唱の編曲にも興味を持ち、これまでに数十曲が演奏の機会を得ている。第36回定期演奏会では「千の風になって」を男声合唱に編曲、アンコールにて披露し好評を得た。星旭、中村外治、青山政雄、蔵田裕行氏に指導を受ける。

日本新楽(株)取締役生産本部長、等を歴任。



## 中根 希子 ピアノ

平塚江南高校を経て、東京藝術大学音楽部楽器科ピアノ専攻卒業。第4回かながわ学生音楽コンクール入賞、県市長会会長賞受賞。第48回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入賞。第3回長江杯国際音楽コンクール第2位。

ウィーン、シカゴ等での音楽講習会マスタークラス参加、修了演奏会に出演。1999年東京都庭園美術館コンサートでは、若手実力派演奏家として毎日新聞に掲載される。同年、ポーランド共和国大使館後援「日本ポーランド国交樹立80周年記念および国際シヨパン記念演奏会」に出演。2000年「ピアノ名曲集」のCDを発売。小田原市記念事業製作の新童謡CD全3作においても収録参加。2007年小田原市民劇場、小林研一郎指揮「市民による第九演奏会」、2008年小林研一郎指揮「モーツァルトレクイエム二短調」、および2009年末廣誠指揮「市民による第九演奏会」のピアノアシスタントを務めた。2009年4月ウィーンフィルメンバ・シユェトイデ弦楽四重奏団と共演し、好評を博した。国内外のリサイタル活動はもとより、歌曲伴奏、室内楽等の演奏会やレコーディング、FMおだわらの出演等幅広く活躍。これまでに植田克己、佐藤俊、ノエル・フロレースの各氏に師事。藝大小田原市人会員。



## 杉山 範雄 ヴォイス・トレーナー

小田原出身。10歳より国内外で多くの受賞歴を持つ小田原少年少女合唱隊に入隊し、ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・アンサンブルを学ぶ。湘南工科大学附属高等学校、東京藝術大学音楽部声楽科を経て、これまでに「フィガロの結婚」伯爵、「コシ・フアン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ、「カルメン」エスカミリーヨ、「ボエーム」コッリネ等を演じ、クープラン「聖スザンナのモテット」、パッサ「カンタータ」・「マタイ受難曲」・「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「第九」、オルフ「アフロディーテの勝利」・「カルミナ・ブラーナ」等演奏会パスソルにて多数出演、故佐藤功太郎、小泉ひろし、小林研一郎等各指揮のもとソロを務める。声楽を多田羅迪夫、桑原妙子の各氏に師事。コロロ・しるふれい、金沢混声合唱団、外山浩爾氏指揮の小田原男声合唱団、常任指揮者。サウンドプロ・フォレスト、黒岩英臣氏指揮の合唱団鯨、桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」等でも、指導・ヴォイス・トレーナーを務めている。読売文化センター、さがみ・コミュニケーションホール文化事業やさしい合唱講座、栄区メサイア塾、等講師。神奈川県合唱連盟理事、藝大小田原市人会員。

# § プログラム

## I 男声合唱曲集 ほほえみ

- 1 ふるさとの木の葉の駅
- 2 憧れ
- 3 朝に
- 4 ひとひらの花びら
- 5 めぐりあいのの中に
- 6 ほほえみ

鈴木 憲夫 作曲  
坂村 真民 作詩  
作詩者 不詳  
立原 道造 作詩  
鈴木 憲夫 作詩  
鈴木 憲夫 作詩  
小田切清光 作詩

指 揮 ノ  
指 揮 牛丸 紘一  
中根 希子

## II Deutsche Messe

Franz Schubert 作曲 Josef Gruber 編曲

- 1 Zum Kyrie
- 2 Zum Gloria
- 3 Zum Evangelium
- 4 Zum Offertorium
- 5 Zum Sanctus
- 6 Nach der Wandlung
- 7 Zum Agnus Dei
- 8 Zum Schlusse

哀れみの讃歌  
栄光の讃歌  
福音書唱  
奉獻唱  
聖なるかな  
聖変化の後で  
神の子羊  
終祭唱

休 憩

## III 男声合唱組曲 草野心平の詩から

- 1 石家荘にて
- 2 天
- 3 金魚
- 4 雨
- 5 さくら散る

草野 心平 作詩  
多田 武彦 作曲

指 揮 外山 浩爾

## IV 男声合唱とピアノのための 赤い鳥小鳥

— 北原白秋童謡詩集 —

小田原地区合唱連盟 40周年記念委嘱作品 初演

- ### 第1章 小さないのち
- 1 揺籃のうた
  - 2 栗鼠、栗鼠、小栗鼠
  - 3 兔の電報
  - 4 たあんき、ぼうんき
  - 5 ちんちん千鳥
  - 6 赤い鳥小鳥

草川 信 作曲  
成田 為三 作曲  
佐々木 すすぐる 作曲  
中山 晋平 作曲  
近衛 秀麿 作曲  
成田 為三 作曲

### 第2章 子供の村

- 7 すかんぼの咲くころ
- 8 アメフリ
- 9 かえろかえろと
- 10 砂山

山田 耕笹 作曲  
中山 晋平 作曲  
山田 耕笹 作曲  
中山 晋平 作曲

### 第3章 いつか来た道

- 11 この道
- 12 揺籃のうた

山田 耕笹 作曲  
草川 信 作曲

指 揮 ノ  
指 揮 外山 浩爾  
中根 希子

「歌曲の王」と称されるシューベールの1787-1828)は、その31年余の短い生涯の中で、あの未完成交響曲等8曲の交響曲や室内楽曲、ピアノ曲等多岐のジャンルにわたり数多くの名曲を残しているが、なんといつても「冬の旅」や「魔王」等をはじめとする約600曲の歌曲の作曲家として音楽史に名を刻んでいる。歌曲作品はほとんど一般には知られていないが合唱曲にも多くの優れた作品を残している。合唱作品は、宗教曲としてミサ曲等45曲、世俗曲では、男声合唱が57曲、混声30曲、女声6曲のほか三重唱曲等61曲の作品がある。一般的にミサ曲とはキリスト教会で日常的に典礼において使われる声楽曲で、そのテキストには中世以来カトリック教会の公用語であるラテン語が使われてきた。

バツハ「ロ短調ミサ曲」、モーツァルト「ハ短調大ミサ」、ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」を始め多くの作曲家がラテン語テキストで名曲を残している。18世紀に入りドイツ、オーストリアではプロテスタント教会に對抗してカソリック教会でも分かりやすい宗教を目指す運動が起こり、また、時の皇帝ヨーゼフ二世がそれを熱心に推進したことからドイツ語の平易な典礼歌が求められるようになった。シューベルトもカトリック教徒としてラテン語のミサ曲を6作品残しているが、この「ドイツミサ」は宗教の平易化に賛同したウィーンの物理学者ヨハン・フリップスがライテン語のミサテキストの様式を踏襲しながら、ドイツ語で自由に書き下ろしたミサのための典礼詩を作り、親交のあったシューベルトに作曲を依頼したことと生まれた作品と伝えられている。

シューベルト29歳(死の2年前)の作品であり、円熟期にあったが依頼者の趣旨を汲み、作品はドイツ民謡風な素朴なメロディーに単純なハーモニーが付けられ平易で親しみやすい曲になっている。原曲はオルガン伴奏付きの混声四部合唱として作曲されたが(後に管楽器とティンパニーを加えた編成とした)、歌いや saz と伴奏の編成が小さいこともあって、シューベルトの合唱作品の中では最もよく演奏される曲の一つとなつていく。

男声版はシューベルト自身の編曲作品もあつたと伝えられているが現在では出版されておらず、本日演奏するヨゼフ・グルーバーによる編曲が広く歌われている。このドイツミサの各曲は現在プロテスタント教会の讃美歌集の中に収められており、特に Zum Sanctus (Heilig) は著名である。

## ドイツミサ構成と大意

### 1. Zum Kyrie

哀れみの讃歌

悲しみと悩みが私を押しつぶす時、  
私はどこへ行けばいいのでしょうか。  
私の心が喜びに鼓動する時、  
誰に語るべきでしょうか。  
私は主のもとに行きます。

### 2. Zum Gloria

栄光の讃歌

いと高きところでは神に栄光がありますように！  
幸いなる天の大軍は歌います。  
いと高きところでは神に栄光がありますように！

### 3. Zum Evangelium

福音書唱

その時、主は言われました。  
「光あれ！」と。すると光が生まれました。  
生命が生じ、活動し、秩序が生まれました。  
あらゆる場所で讃美と感謝の聲が響きわたります。

### 4. Zum Offertorium

奉献唱

主よ！ あなたは私に存在と生命と  
そしてあなたの教えと天の光を与えられました。  
それに対して塵のような私に、  
ただ感謝をささげる以外に、  
何をすることができましょう！

### 5. Zum Sanctus

聖なるかな

聖なるかな！ 聖なるかな！ 聖なるかな！  
主は！ 主は始めなく、常におられました。  
永速であつて、統治されておられます。  
そして、いつでもおられます。

### 6. Zum der Wandlung

聖変化の後で

最後の晩餐の席であなたはパンを裂き、  
杯を差し言われました。  
「これは私の体、私の血、とつて私の愛を  
思いなさい。あなた方が身をささげつつ  
同じことを行う時に」

### 7. Zum Agnus Dei

神の子羊

わが救い主、主よ、師よ！  
あなたの口は祝福に満ちて救いの言葉を  
語られました。  
「平和があなた方とともにもあるように」と。  
主よ！ 神の子羊よ！ あなたはおのが身を  
献げて重い罪を除いてくださいました。

### 8. Zum Schlusse

終祭唱

主よ！ あなたは私の切なる祈りを  
お聴きくださいました。  
私の胸はこの上ない幸せに鼓動しています。  
祝福してください、主よ、私と私のものを！  
祝福してください、私たちの人生の道を！

作曲者の鈴木憲夫氏は、かねてから男声合唱の魅力に惹かれ、憧れを抱いておられました。この男声合唱曲集の終曲にもなっている「ほほえみ」を中心として、これまでには、〈女声合唱曲集〉〈混声合唱曲集〉が組まれてきましたが、2007年8月、〈男声合唱曲集〉として、新に男声版が発表されました。

この曲集に収められている作品は、比較的演奏される頻度の高い作品でもあり、既に女声合唱、混声合唱作品として親しまれてきました。その素晴らしき詩と美しい曲想は、男声合唱曲集として、私達にも魅力的な世界と善敵な出会いを与えてくれます。

感謝と喜びを、愛する友へ、愛する家族へ、愛する皆様へ、『ありがとう』の思いをこめて歌い上げます。

## ふるさとの中の木々の葉の駅

列車は『いつも母が待っていてくれた』ふるさとの駅に向かっている。そこは『赤いカシナの花』が咲いている木の葉の駅。けれども、今はもう降りることのないそのふるさとの駅』を過ぎていく時、自分を見送るものは、遠い母との過去への想い出。

女声合唱曲集「ほほえみ」初出。

## 憧れ

作曲者が20歳の頃の作品で、はじめ混声合唱曲として作られ、その後、女声版として広く歌われるようになった。

その前年には宮城教育大学の演奏会のためには「永訣の朝」を作曲している。初演を終え、その労を取ってくれた友人とある喫茶店で話をしていた時、この詩を見せられ作曲を終えた。後年、何かもの足りせずに温めていた。後年その友人に典を後半を付けて足すよう不詳。加え、作曲者があえて作者不詳にして、改めて詩を完成。

作曲者自身、若い頃に感じたほのかな憧れのよき思い出が詩から甦り、タイトルは「憧れ」とつけられた。

「鈴木憲夫抒情小曲集」初出。

混声合唱曲集「ほほえみに」に収録。

## 朝に

立原道造の詩。詩人の没後に『優しき歌II』に編纂された。詩自体は短いながらも様々なシーンがある。みんながどこかで経験したことがある。「朝」の様子を美しく歌い上げている。

「鈴木憲夫抒情小曲集」初出。

混声合唱曲集「ほほえみに」に収録。

## ひとひらの花びら

早世した友人のために発表。風が伝える香りはどういった花のものだろうか。美しく咲き終った花だったのか、これから咲こうとしていた花の存在だろうか。風はその美しき花の存在を忘れない。

女声合唱曲集「茜の空に」初出。  
女声合唱曲集「ほほえみ」に収録。

## めぐりあいの中に

この詩と曲は10日ほどでできたそうです。それだけ感謝と喜びが溢れ出ていた聞き覚えが、めぐりあいは幾重にも人を彩ります。素

やさしき人との出会いはやさしき心を、素晴らしきめぐりあいは真心を。

たんなる出会いをめぐりあうと感ずるか、気づかずに通り過ぎってしまうのか。そのことだけでも人生の彩りも違ってくるように思えます。『だから人は美しきひとときのために生まれました。』

そう思えるような人の出会いだとしたら、そんなに素晴らしいことでしょうか。あいを待て、また、そんな素晴らしきめぐりあいを待てる幸せな社会だとしたら素晴らしい彩りです。

女声合唱曲集「ほほえみ」に収録。

混声合唱曲集「ほほえみ」に収録。

## ほほえみ

『めぐりあいをめぐりあう、ほほえみがありがと』と、感謝のこぼれで歌い上げます。指揮者・故辻正行氏古希のお祝いのために作曲。2002年7月「辻正行70th anniversary concert」故辻正行氏の指揮・辻志朗氏のピアノで初演。

詩は辻氏とも交流の篤かった小田切清光氏。

混声合唱曲集「ほほえみ」初出。

女声合唱曲集「ほほえみ」に収録。

## 作曲家・鈴木 憲夫

1975年、東北学院大学法学科卒業後、東京音楽大学作曲科研究科において伊福部昭氏のもとで作曲、管弦楽法、音楽美学など2年間の研鑽を積む。指揮を山田一雄氏に師事。

作品は合唱曲、楽器、吹奏楽、管弦楽と幅広く多数の作品を発表。楽譜、著書は海外からも含め多数刊行されている。

特に合唱は全国各地で演奏され、近年「鈴木憲夫合唱の世界」のプログラムが組まれるなど、アランの支持層も幅広い。二期合唱団、日本合唱協会などにて自作も数多い。他、NHK合唱コンクールなど審査員、各地での合唱講座等の講師も務める。

2007年4月、「チエコ・日本親善演奏会」(チエコ・プラハ)において、自作のプログラムを中心に日本より、約120名の女声合唱団を率いて、インターネットを行う。

## ふるさとふるさとの木の葉の駅

この駅で  
いつも母が待っていてくれた  
駅には赤いカシノの花が咲き  
車窓にそれが近々と迫ってきた  
母のいないさびしい駅を  
わたしたは息をのんで過ぎていった

作詩 坂村 真民

## 憧れ

ひかりさえて やすらかな  
星のようにつの憧れを  
胸に秘めて  
星のながれはききよど  
果てしないけれど  
待ちましょ  
いつまでも  
花咲く日を

作詩者 不詳

## 朝に

おまえの心が 明るい花の  
ひとむれのやうに いつも  
眼ざめた僕の心には なしかけ  
《 ひとときの朝の 澄んだ空 青い空 》  
傷ついた 僕の心から  
棘(とげ)を抜いてくれたのは おまへの心の  
あとけない ほほゑみだ そして  
他愛(たかい)もない おまへ心の おしやべりだ  
ああ 風が吹いてゐる 涼しい風だ  
草や 木の葉や せせらぎが  
こたへるやうに ざわめいてゐる  
あたらしく すべては 生まれた！  
露がこぼれて かわいて行くとき  
小鳥が 蝶(てふ)が 昼に高く舞ひあがる

作詩 立原 道造

## ひとひらの花びら

ひとひらの花びらが 風にゆれて散った  
少しずつたためらいながら ヒラヒラと落ちてゆく  
その花は美しく咲き終えた花だったのか  
それともこれから咲こうとしていたのか

風は花の色を染め  
香りを伝える

風は忘れない  
たとえひとひらの花びらでも  
春の日に美しく咲いていたことを  
風は  
忘れない

作詩 鈴木 憲夫

## めぐりあいの中に

やさしき人との 出会いは  
やさしきころを 生み  
素晴らしきめぐりを 薫る  
人の まごころを

喜びも 時に 悲しみも  
めぐりあいのの中に  
人を 彩(いろどり)

めぐりあい めぐりあい  
そればかりかえし  
風が花びらを 運ぶように  
時を めぐる

…… だから 人は ために  
美しき ひとときの ために  
また めぐりあう

作詩 鈴木 憲夫

## ほほえみ

さよならをいう まえに  
約束しよやましいほほえみは  
あなただけのまじいほほえみは  
わたしのまじいほほえみは

木枯らしの吹く夜は きらめく星に  
思い出すでしよ かのほほえみは  
あなただけのまじいほほえみは  
わたしのまじいほほえみは

ほほえみとほほえみで  
たのしみにしよ また逢える日を  
あなただけのまじいほほえみは  
わたしのまじいほほえみは

ほほえみを ありがとう

作詩 小田切 清光



## 1 石家荘にて

茫々の平野くだりて。  
サガレンの。  
潮香かぎし女。  
月蛾の街にはひり来れり。  
白き夜を。  
月蛾歌はず。  
耳環のみふるへたり。

ああ。  
十文字愛憎の底にして。  
石家荘。  
沈みゆくなり。

## 2 天

出臍(でせ)のやうな。  
五センチの富士。  
海はどこまでも青ブリキ。

あんまりまぶしく却(かえ)ってくらく。  
満天に黒と柴との微塵(みじん)がきしむ。  
寒波の縞は大日輪をめぐりて迫り。  
シヤシヤシヤシヤ音たてて氷の雲は風に流れる。

人間も見えない。  
鳥も樹木も。

出臍のような五センチの富士。

## 3 金魚

あをみどろのなかで。  
大瓶金はしづかにゆらめく。  
とほい地平の支那火事のやうに。

支那火事が消えるやうに。  
深いあをみどろのなかに沈んでゆく。

合歓木(雄)の花が落ちる。水(水)のもの。  
そのお白粉刷毛(おしろいぼり)に金魚は浮きあがり。  
口をつける

かすかに動く花。  
金魚は沈む。

輪郭もなく。夢のやうに。  
あおみどろのなかの朱(赤)いぼかし。  
金と朱(赤)とのぼんぼり。

## 4 雨

志戸平(しだいら)温泉第五號の番傘に。  
音をたてる。  
何千メートルの天の奥から並んでくる雨が。  
地上すれすれの番傘に音をたてる。  
林檎畑にはさまれた道に。  
さうして墜ちて沁みる。  
点。  
点。  
天の音信(いんしん)。  
霽(はら)が生まれひろがり空にのぼる。

## 5 さくら散る

はながちる。  
はながちる。  
ちるちるおちるまひおちるおちるまひおちる。

光と影がいりまじり。  
雪よりも。  
死よりもしづかにまひおちる。  
まひおちるおちるまひおちる。

光と夢といりまじり。  
ガスライト色のちらちら影が。  
生まれては消え。  
はながちる。  
はながちる。  
東洋の時間のなかで。  
夢をおこし。  
夢をちらし。

はながちる。  
はながちる。  
はながちるちる。  
ちるちるおちるまひおちるおちるまひおちる。



# 1 揺籃のうた

揺籃のうたを、  
カナリリヤが歌う、よ、  
ねんねこ、ねんねこ、  
ねんねこ、よ。

揺籃のうへに  
枇杷の葉が揺れる、よ、  
ねんねこ、ねんねこ、  
ねんねこ、よ。

草川 信 作曲

# 2 栗鼠、栗鼠、小栗鼠

栗鼠、栗鼠、小栗鼠、  
ちよちよちよ、小栗鼠、  
山椒の露が青いぞ  
飲め飲め飲め飲め小栗鼠。

栗鼠、栗鼠、小栗鼠、  
ちよちよちよ、小栗鼠、  
山椒の露が青いぞ  
飲め飲め飲め飲め小栗鼠。

山田耕作 作曲

# 3 兎の電報

えつきつきこえつきつき  
ひよんひよんこえつきつき  
郵便はいたつ、えつきつき  
唐黍はたけを、えつきつき  
向日菜垣根を、えつきつき  
両手をふりふり、えつきつき  
脇目もふらずに、えつきつき  
「電報。」「電報。」えつきつき

佐々木すぐる 作曲

# 4 たあんき、ぼうんき

たあんき、ぼうんき、たんころりん。  
田螺(たに)がころころ鳴いてゐる。  
たあんき、ぼうんき、たんころりん。  
蛙が目ばかりだしてゐる。

中山晋平 作曲

# 5 ちんちん千鳥

ちんちん千鳥の啼く夜(は)さは、  
啼く夜さは、  
硝子戸しめてもまだ寒い、  
まだ寒い。

ちんちん千鳥の啼く声は、  
啼く声は、  
燈りを消してもまだ消えぬ、  
まだ消えぬ。

ちんちん千鳥よ、お寝(よ)らぬか、  
お寝らぬか  
夜明けの明星が早や白む、  
早や白む。

近衛秀彦 作曲

# 6 赤い鳥小鳥

赤い鳥、小鳥、  
なせなせ赤い。  
赤い美をたべた。

白い鳥、小鳥、  
なせなせ白い。  
白い美をたべた。

青い鳥、小鳥、  
なせなせ青い。  
青い美をたべた。

成田為三 作曲

# 7 すかんぼの咲くころ

土手のすかんぼ、  
ジャワ更紗。

屋の螢が  
ねんねする。

僕ら小学  
尋常科。

今朝も通って  
またもどる。

すかんぼ、すかんぼ、  
川のふち。

夏が来た来た  
下、し、ミ、フア、ソ。

山田耕作 作曲

# 8 アメアリ

アメアリ フレフレ、カアサンノ  
デ オムカヒ、ウレシイナ。  
ビッチビッチ チヤップチヤップ  
ランランラン。

カケマシヨ、カバン ヲ カアサンノ  
アトカラ ユココ カネ ガ ナル。  
ランランラン。 チヤップチヤップ

アラアラ アノコ ハ ズブヌレダ、  
ヤナギ ノ ネ カタ テ、ナイテイル。  
ランランラン。 チヤップチヤップ

カアサン、ボクノラ カシマシヨカ。  
キミキミ、コノカサ サシタマエ。  
ビッチビッチ チヤップチヤップ  
ランランラン。

ボクナラ イインダ カアサンノ  
オオキ子 ジャノメ ニハイッテク。  
ビッチビッチ チヤップチヤップ  
ランランラン。

中山晋平 作曲

# 9 かえろかえろと

かへろかへろと  
なにに見てかへる。  
寺の賽地の  
影を思い思いかへる。  
「かへろが鳴くからかへろ。」

かへろかへろと  
なにを(し)てかへる。  
葱の小坊主  
たたまたたきかへる。  
「かへろが鳴くからかへろ。」

山田耕作 作曲

# 10 砂山

海は荒海、  
向ころは佐渡よ、  
すずめ啼け啼け、もう日はくれたぞ。  
みんなな呼べ呼べ、お星さま出たぞ。

暮れりや、砂山、  
汐鳴りばかり、  
すずめちりちり、また風荒れる。  
みんなちりちり、もう誰も見えぬ。

かへろかへろよ、  
来黄原わけて、  
すずめさよよにら、さよなら、あした。  
海よさよなら、さよなら、あした。

中山晋平 作曲

# 11 この道

この道はいつか来た道、  
ああ、さうだよ、  
あかしやの花が咲いてる。

あの丘はいつか見た丘、  
ああ、さうだよ、  
ほら、白い時計台だよ。

山田耕作 作曲

平成21年度(2009年)事業等

(1)	2009.	1. 6	(火)	平成21年度 歌いはじめ	旭丘高校音楽室	第1展示ホール
(2)		1. 31	(土)	神奈川県合唱協会(KAMCA) 第1回 合同練習	藤沢市民会館	第1展示ホール
(3)		2. 14	(土)	平成20年度 総会	旭丘高校音楽室	ホール
(4)		2. 21	(土)	神奈川県合唱協会(KAMCA) 第2回 合同練習	藤沢市善行公民館	ホール
(5)		3. 21	(土)	市民による第九演奏会 ゲネプロ	小田原市民会館	大ホール
(6)		3. 22	(日)	市民による第九演奏会	小田原市民会館	大ホール
(7)		3. 29	(日)	神奈川県合唱協会(KAMCA) 第3回 合同練習	藤沢市民会館	第1展示ホール
(8)		4. 18	(土)	第8回 神奈川県合唱協会(KAMCA) 藤沢演奏会	藤沢市民会館	大ホール
(9)		6. 7	(日)	第58回 湘南合唱祭	ハーモニーホール座間	大ホール
(10)		7. 25	(土)	五十嵐喜芳 コンサート	小田原市民会館	大ホール
(11)		8. 2	(日)	外山浩爾先生と歌う仲間たち	明治大学アカデミーコモン	大ホール
(12)		9. 23	(日)	第3回 小田原城 ミュージックストリート	小田原文学館会場	
(13)		10. 18	(日)	第43回 小田原市民合唱祭 (40周年記念)	小田原市民会館	大ホール
(14)		11. 14	(土)	強化練習 (合宿・泊)	いこいの村あしがら	
(15)		11. 15	(日)	強化練習	いこいの村あしがら	
(16)		12. 1	(火)	リハーサル 1	旭丘高校音楽室	
(17)		12. 1	(金)	リハーサル 2	小田原市民会館	大ホール
(18)		12. 5	(土)	第38回 定期演奏会	小田原市民会館	大ホール
(19)		12. 22	(火)	平成21年度 歌いおさめ	旭丘高校音楽室	
(20)	2010.	1. 5	(火)	平成22年度 歌いはじめ	旭丘高校音楽室	
(21)		2. 11	(祝)	第1回 神奈川県合唱フェスティバル(県下約60団体)	県立音楽堂	木のホール
(22)		3. 5	(金)	みんなで歌おう! ～市民によるオペラ・ガラ・コンサート～	小田原市民会館	大ホール
(23)		3. 6	(土)	みんなで歌おう! ～市民によるオペラ・ガラ・コンサート	小田原市民会館	大ホール
(24)		4. 8	(水)	威風雄雄米150周年記念 第43回 サンフランシスコさくら祭り 日米合唱コンサート	サンフランシスコ &	
(25)		4. 13	(火)	威風雄雄米150周年記念 第43回 サンフランシスコさくら祭り 日米合唱コンサート	姉妹都市チュラビスタ (人口約25万人)	
(26)		6. 6	(日)	第59回 湘南合唱祭	綾瀬市文化会館	大ホール
(27)		10. 17	(日)	第44回 小田原市民合唱祭	小田原市民会館	大ホール

※ 2011. 7. 17 (日) 第20回 日本男声合唱協会(JAMCA) 記念演奏会 (3連・中甲) 札幌市 (ホールの確保)

第39回 定期演奏会 11月6日(土) 開場 14:00 開演 15:00 小田原市民会館 大ホール

予定曲目	「愛の詩集」より R. シェトラウス 作曲 福永陽一郎 編曲 ピアノ付
	子守歌 あした ひそやかな誘い 万霊節
	みんなの知っている歌より ア・カペラ
	からたちの花 大島節 最上川舟唄 等
	フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群I」南弘明 作曲 ピアノ付
	小曲 輪踊り人云うことを信じるな 海よ 秋の歌
	男声合唱組曲「中原中也の詩から」多田武彦 作曲 ア・カペラ
	北の海 汚れちまった悲しみに 間奏曲 雲雀 六月の雨 月の光

団員随時募集 年齢経験は問いません。!! いつしよに歌いましょう。!!

年齢 高校生～80歳代の方々と、幅広い年齢層です。再び復団された方もたくさんいます。練習用CD等も用意しております。  
 性別 男性の方であれば大丈夫です。お気軽にお越しください。6000余名による合同曲も演奏できます。  
 団員 隔年の日本男声合唱協会・神奈川県・神奈川男声合唱協会の演奏会では、藤沢・茅ヶ崎・鎌倉・横浜。岡山県赤磐市と広範囲です。  
 練習日 小田原・南足柄・真鶴・湯河原・熱海・二宮・大磯・厚木・寒川・小田原旭丘高等学校(小田原より徒歩7分)  
 連絡先 毎週火曜日 19:00～21:30 桑原敏雄 TEL 0465(83)4600 青野幸夫 TEL 0463(87)2473

今までの委嘱作品

2001年	第30周年定期演奏会 記念委嘱作品 男声合唱組曲「西湘の風雅」 初演	(JAMCA 石川県・金沢市)	大木 惇夫 作詩 多田 武彦 作曲
2006年	第35周年定期演奏会 記念委嘱作品 男声合唱組曲「近寒小景」(こかんしょうけい) 男声合唱のための「宮崎駿アニメ映画音楽集」	初演 (JAMCA 大分にて)	北原 白秋 作詩 多田 武彦 作曲 中川季枝子 作詞 久石 譲 作曲 寛和歌子 作詞 木村 弓 作曲 信長 貴富 編曲
2008年	第37回定期演奏会 委嘱作品 男声合唱組曲「大木惇夫の詩から・四季點綴」(しまてんてい) 5つのオアハケーニヤによる憧憬	初演 (JAMCA 滋賀にて)	大木 惇夫 作詩 多田 武彦 作曲 信長 貴富 編曲
2011年	第40周年定期演奏会 記念委嘱作品 予定	初演 (JAMCA 札幌にて)	

# 小田原男声合唱団 第38回 定期演奏会

T1	T2	B1	B2
石山 誠 (藤沢市)	青野 幸夫 (秦野市)	青野 (小田原市)	赤川 (伊勢原市)
伊藤 正昭 (横浜市)	伊藤 甲一 (松田町)	熱田 (南足柄市)	一色 (秦野市)
加藤 重喜 (秦野市)	牛丸 紘一 (小田原市)	伊東 (秦野市)	井上 忠彦 (小田原市)
斎藤 惠司 (厚木市)	佐藤 精孝 (二宮町)	岩越 (小田原市)	木村 昌彦 (茅ヶ崎市)
佐野 惠 (剛山町)	杉本 健二 (南足柄市)	江川 (鎌倉市)	桑原 敏雄 (大井町)
諏訪部 清 (中井町)	福井 隆 (二宮町)	江藤 (厚木市)	古林源次郎 (二宮町)
西山 廣木代 (二宮町)	宝子山尚生 (小田原市)	大塚 常昭 (小田原市)	近藤陽一郎 (二宮町)
福嶋 修 (小田原市)	奎中 勉 (秦野市)	奥津 光隆 (真鶴町)	坂口 宗夫 (小田原市)
日置 達男 (小田原市)	山田 允彦 (茅ヶ崎市)	小澤 一 (小田原市)	鈴木 壽久 (南足柄市)
堀内 哲夫 (小田原市)	山本 洋之 (小田原市)	菊池 義彦 (小田原市)	曾我 重康 (小田原市)
水城 高嶺 (秦野市)	吉本 隆一 (小田原市)	下村 興毅 (小田原市)	田島 達也 (南足柄市)
望月 信夫 (小田原市)		西山 隆行 (秦野市)	豊田 増穂 (小田原市)
		蕤井 武 (小田原市)	中嶋 亮仁 (小田原市)
			原 誠 (南足柄市)
			星野 正博 (茅ヶ崎市)

音楽監督

常任指揮者

外山 浩爾

運営 スタッフ

演奏会 スタッフ

団内指揮者	技術部長	福井 隆	委員長	青野 幸夫
牛丸 紘一	パートリーダー	福井 隆	事務局	桑原 敏雄
ピアノ	T1	日置 達男	会 計	佐藤 精孝
中根 希子	T2	福井 隆	T	山田 允彦
	B1	小澤 一	B	鈴木 壽久
	サブ	蕤井 武	出 演	福井 隆
	B2	一色 義信	広 報	桑原 敏雄
ヴォイストレーナー	団員部長	伊東 清邦	外 写	杉本 健二
杉山 範雄	団員副部長	伊東 清邦	真 状	加藤 重喜
	T1	水城 高嶺	招待状	豊田 増穂
	T2	山田 允彦	チラシ	青野 幸夫
	B1	岡部仁之助	ライブ	日置 達男
	B2	鈴木 壽久	ライブラリー	日置 達男
	事務局 主事	井上 忠彦	打上げ	山崎 幸與
	財政 監査	田島 達也	舞 台	松田 直隆
		近藤陽一郎	ロビー	
			アサカス	石崎 雅美



B1

青野 正純 (38)  
①よれたホの男に  
②えのユ田さのい

江藤 凱夫 (31)  
①第6回定演で生に協力を  
②指揮として感力楽を  
③名動でしを重  
④家族の響きな  
⑤声男み、心豊か  
⑥時の響きな幸

下村 興毅 (39)  
①最初の練習を  
②載り、それを  
③男声男声男声  
④男声男声男声  
⑤男声男声男声  
⑥男声男声男声

熱田 隆純 (7)  
①会社で通る  
②合唱活動の  
③多くの団内外  
④参加できる  
⑤旅行に楽し  
⑥参加でき

大塚 常昭 (1)  
①約40年の会  
②約40年の会  
③約40年の会  
④約40年の会  
⑤約40年の会  
⑥約40年の会

西山 隆行 (8)  
①男声合唱の  
②男声合唱の  
③男声合唱の  
④男声合唱の  
⑤男声合唱の  
⑥男声合唱の

伊東 清邦 (30)  
①箱根の小学校  
②箱根の小学校  
③箱根の小学校  
④箱根の小学校  
⑤箱根の小学校  
⑥箱根の小学校

奥津 光隆 (13)  
①井上氏に  
②井上氏に  
③井上氏に  
④井上氏に  
⑤井上氏に  
⑥井上氏に

蕙井 武 (2)  
①単身赴任で  
②単身赴任で  
③単身赴任で  
④単身赴任で  
⑤単身赴任で  
⑥単身赴任で

岩越 万里 (1)  
①今春の第九市  
②今春の第九市  
③今春の第九市  
④今春の第九市  
⑤今春の第九市  
⑥今春の第九市

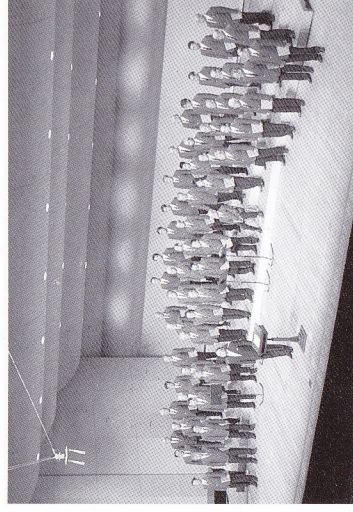
小澤 一 (37)  
①小田男の第二期  
②小田男の第二期  
③小田男の第二期  
④小田男の第二期  
⑤小田男の第二期  
⑥小田男の第二期

今年度は休団です。

B1 岩田 一 岡部 仁之助 小南 祐馬 眞壁 伸吾  
B2 木村勝男 辻岡 伸浩 村雲 岳郎

江川 卓男 (17)  
①以前小田原に住  
②以前小田原に住  
③以前小田原に住  
④以前小田原に住  
⑤以前小田原に住  
⑥以前小田原に住

菊池 義彦 (11)  
①当時在団の小野  
②当時在団の小野  
③当時在団の小野  
④当時在団の小野  
⑤当時在団の小野  
⑥当時在団の小野



B2

赤川 軍一 (21)  
①中合の腹加  
②中合の腹加  
③中合の腹加  
④中合の腹加  
⑤中合の腹加  
⑥中合の腹加

古林 源次郎 (10)  
①不慮の事故で  
②不慮の事故で  
③不慮の事故で  
④不慮の事故で  
⑤不慮の事故で  
⑥不慮の事故で

一色 義信 (20)  
①引越の都度  
②引越の都度  
③引越の都度  
④引越の都度  
⑤引越の都度  
⑥引越の都度

近藤 陽一郎 (7)  
①同職先輩、現  
②同職先輩、現  
③同職先輩、現  
④同職先輩、現  
⑤同職先輩、現  
⑥同職先輩、現

井上 忠彦 (39)  
①I971年11月  
②I971年11月  
③I971年11月  
④I971年11月  
⑤I971年11月  
⑥I971年11月

坂口 宗夫 (39)  
①数少ない創立  
②数少ない創立  
③数少ない創立  
④数少ない創立  
⑤数少ない創立  
⑥数少ない創立

木村 昌彦 (2)  
①創団時から参  
②創団時から参  
③創団時から参  
④創団時から参  
⑤創団時から参  
⑥創団時から参

鈴木 壽久 (6)  
①当年(6年前)富  
②当年(6年前)富  
③当年(6年前)富  
④当年(6年前)富  
⑤当年(6年前)富  
⑥当年(6年前)富

桑原 敏雄 (12)  
①小田男の男声  
②小田男の男声  
③小田男の男声  
④小田男の男声  
⑤小田男の男声  
⑥小田男の男声

曾我 重康 (3)  
①小田男・湘南  
②小田男・湘南  
③小田男・湘南  
④小田男・湘南  
⑤小田男・湘南  
⑥小田男・湘南

田島 達也 (17)  
①友人から素人  
②友人から素人  
③友人から素人  
④友人から素人  
⑤友人から素人  
⑥友人から素人

豊田 増穂 (8)  
①現役引退顧問  
②現役引退顧問  
③現役引退顧問  
④現役引退顧問  
⑤現役引退顧問  
⑥現役引退顧問

中嶋 亮仁 (1)  
①井上楽器店  
②井上楽器店  
③井上楽器店  
④井上楽器店  
⑤井上楽器店  
⑥井上楽器店

原 誠 (19)  
①音楽からしは  
②音楽からしは  
③音楽からしは  
④音楽からしは  
⑤音楽からしは  
⑥音楽からしは

星野 正博 (15)  
②字友で後輩の  
③字友で後輩の  
④字友で後輩の  
⑤字友で後輩の  
⑥字友で後輩の

